

令和9年度

入学者選抜に関する要項

本要項は、学部入学試験の概要を記載したものです。
試験時間や出願方法等の詳細は、各選抜の『学生募集要項』に記載しますので、
出願に際しては必ず学生募集要項を確認のうえ、出願手続きを行ってください。

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

入学者選抜の基本方針

学校教員を志望するすぐれた学生を受け入れ、広く地域の教育に貢献するため、京都府内の高等学校に在籍する者を対象に小論文と面接で選考する学校推薦型選抜（地域指定）、地域の制限なしに主として小論文と面接で選考する学校推薦型選抜、大学入学共通テストと本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等を課す一般選抜・前期日程及び後期日程を行います。

アドミッション・ポリシーに示している「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」、「子どもを理解するために努力しようとする姿勢」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性と協調性」等を総合的に判断し、入学者を選抜します。

各選抜区分における方針は、以下のとおりです（詳細については各学生募集要項を参照してください）。

学校推薦型選抜（地域指定）

京都の教員養成大学として地域に貢献するため、出願要件Aでは京都府北部地域の高等学校に在籍する者、出願要件Bでは京都府北部地域を除く京都府内の高等学校に在籍する者を対象にしています。

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」を確かめるため、京都府の小学校教員を志望することを保証する学校長による推薦書及び教員志望動機書の提出を求めます。調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかとも評価します。

学校推薦型選抜

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」を確かめるため、志望する専攻ごとに定める学校種の教員志望であることを保証する学校長による推薦書及び教員志望動機書の提出を求めます。調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかとも評価します。

一般選抜（前期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入学共通テストと調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかとも評価します。

一般選抜（後期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入学共通テストと調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうかとも評価します。

目 次

京都教育大学教育学部 入学者選抜に関する要項

	ページ
I. 募 集 人 員	1
II. 入学者選抜方法	2
III. 一般選抜	
1. 出願資格	3
2. 選抜方法等	4
3. 障害等のある入学志願者の事前相談について	4
4. 出願期間	4
5. 出願について	4
6. 選抜期日	4
7. 合格発表日	4
令和9年度教育学部一般選抜の実施教科・科目及び配点について	5
IV. 学校推薦型選抜	
1. 出願資格及び要件	15
2. 選抜方法等	17
3. 障害等のある入学志願者の事前相談について	18
4. 出願期間	18
5. 出願について	18
6. 選抜期日	18
7. 合格発表日	18
V. 学校推薦型選抜（地域指定）	
1. 出願資格及び要件	19
2. 選抜方法等	19
3. 障害等のある入学志願者の事前相談について	20
4. 出願期間	20
5. 出願について	20
6. 選抜期日	20
7. 合格発表日	20
令和8年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況	21
令和9年度学生募集要項等の公表について	25

京 都 教 育 大 学 教 育 学 部

令 和 9 年 度 入 学 者 選 抜 に 関 す る 要 項

I. 募集人員

教育学部

学校教育教員養成課程 300名

募集人員の内訳は次のとおりです。

専攻	入学定員	募集人員			
		一般選抜		学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (地域指定)
		前期日程	後期日程		
教育学専攻	300	16	—	6	20
幼児教育専攻		7	1	6	
発達障害教育専攻		8	2	4	
国語領域専攻		14	—	5	
社会領域専攻		17	2	11	
英語領域専攻		16	4	5	
数学領域専攻		20	2	7	
理科領域専攻		23	4	13	
技術領域専攻		8	—	5	
家庭領域専攻		11	—	5	
美術領域専攻 (美術分野)		6	2	5	
(書道分野)		3	—	—	
音楽領域専攻		5	2	5	
体育領域専攻		15	5	10	
合 計	300	169	24	87	20

※学校推薦型選抜（地域指定）は、京都府内の高等学校等を対象とした学校推薦型選抜です。（詳細は19～20ページ参照）。

Ⅱ. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により実施します。

1. 一般選抜

令和9年度大学入学共通テストを課し、分離分割方式による個別テスト等で選抜を行います。

2. 学校推薦型選抜、学校推薦型選抜（地域指定）

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜、学校推薦型選抜（地域指定）を実施します。
（詳細は、15～20ページに掲載）

※「個別テスト」とは、本学が実施する教科・科目に係る個別テストをいいます。（以下同じ。）

Ⅲ. 一般選抜

1. 出願資格

本学が指定した令和9年度大学入学共通テストの教科・科目（5ページから14ページに掲載）を受験した者で、次のいずれかに該当する者及び令和9年3月31日までに該当見込みの者。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- (9) 本学における個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

ただし、(9)による出願を希望する者は、入学資格審査を受け、入学資格の認定を受ける必要があります。

＜入学資格審査の申請手続＞

- ①審査の申請書類（申請者の学習歴により異なる場合があります。）
 - ・入学資格審査申請書（本学所定用紙 ※事前に請求してください。）
 - ・最終学校等の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書
 - ・最終学校等の成績証明書又は単位修得証明書
 - ・最終学校等の教育内容等が確認できるもの（教育課程表、授業時間数、必要単位が明記されたもの）
 - ・最終学校等の校則等（修業年限、卒業（修了）要件が明記されたもの）
 - ・その他本学が必要と認めた書類（審査申請受付後、該当者には別途連絡します。）
- ②審査の方法
書類審査。ただし、書類審査で判断できない場合は、本人に別途通知の上、審査を行います。
- ③審査申請期間
令和8年8月28日（金）まで
受付時間は、土、日曜日及び祝日を除く、9時～12時30分、13時30分～17時。
郵送により申請を行う場合は、簡易書留郵便で8月28日（金）までに必着するよう送付してください。
ただし、大学入学共通テストを受験した者が、志望大学を変更して、本学に入学資格審査の申請を行う場合は、令和9年1月19日（火）までとします。
- ④審査申請書類の提出先
本学 入試課 入試グループ
- ⑤審査結果の通知
文書により本人に通知します。

2. 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、令和9年度大学入学共通テストの成績並びに本学が行う令和9年度個別テスト等の成績及び調査書等の内容を総合して判定します。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目は、5～14ページの「大学入学共通テストの利用教科・科目名」欄のとおりです。

3. 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和8年12月15日（火）までに、本学入試課入試グループへ相談してください。

なお、受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要する場合がありますので、早めに相談するようにしてください。

また、期限以降であっても、その状況によっては考慮できる場合がありますので、必ず相談するようにしてください。

相談の方法等の詳細については、本学ホームページを参照してください。

(本学ホームページトップ → MENU → 入試情報 → 受験上の配慮等に関する事前相談について)

4. 出 願 期 間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）まで

5. 出願について

(1) 試験日程グループ間の併願について

国公立大学の試験日程グループ間の併願については、「前期－前期」、「後期－後期」の組合せで併願することはできませんので注意してください。

(2) 本学の併願について

本学の「前期日程」に出願する者が、本学の「後期日程」に出願してもかまいません。

6. 選 抜 期 日

前期日程

専 攻	日 程
教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、 国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、 数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、家庭領域専攻	2月25日（木）
美術領域専攻（美術分野、書道分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻	2月26日（金）

後期日程

専 攻	日 程
幼児教育専攻、発達障害教育専攻、社会領域専攻、 英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、 美術領域専攻（美術分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻	3月12日（金）

7. 合 格 発 表 日

前期日程：令和9年3月 6日（土）（予定）

後期日程：令和9年3月20日（土）（予定）

令和9年度 教育学部一般選抜の実施教科・科目

＜大学入学共通テストの利用教科・科目名等については、13～14ページを併せて

専攻	一般選抜の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	現代の国語、言語文化 小論文
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1または 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)6科目]	国 その他	面接
発達障害教育専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	現代の国語、言語文化 面接
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	面接

及び配点について

ご確認ください。＞

学力検査等の配点										
試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	配点計
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等	300						100			400
計	500	200	200	100	200	50	100			1350
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等	200								200	400
計	400	200	200	100	200	50			200	1350
共通テスト	100	50	50	50	100	25				375
個別テスト等									300	300
計	100	50	50	50	100	25			300	675
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等	200								200	400
計	400	200	200	100	200	50			200	1350
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等									400	400
計	200	200	200	100	200	50			400	1350

専攻	一般選抜の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
国語領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	現代の国語, 言語文化 面接
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	現代の国語, 言語文化 面接
社会領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	現代の国語, 言語文化 面接
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	小論文 面接
英語領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	外	英語(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』 『地総/歴総/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 その他	小論文 面接

学力検査等の配点										
試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	配点計
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等	300								100	400
計	500	200	200	100	200	50			100	1350
共通テスト	200	300	100	50	200	50				900
個別テスト等	200								200	400
計	400	300	100	50	200	50			200	1300
共通テスト	100	300	50	50	200	50				750
個別テスト等							100		200	300
計	100	300	50	50	200	50	100		200	1050
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等					400					400
計	200	200	200	100	600	50				1350
共通テスト	200	200	200	100	200	50				950
個別テスト等							300		300	600
計	200	200	200	100	200	50	300		300	1550

専攻	一般選抜の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
数学領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から2 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)8科目]	数 理	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1 (数学B:数列) (数学C:ベクトル, 平面上の 曲線と複素数平面)
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から2 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)8科目]	そ 他	小論文 面接
理科領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から2 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)8科目]	理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から2 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)8科目]	そ 他	小論文 面接
技術領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 理 数 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から3 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 理 そ 他	現代の国語, 言語文化 物理基礎・物理, 化学基礎・化学, } から 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1 } 1 教科 面接
	後期	国 地歴・ 公民 理 数 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から3 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 理 そ 他	現代の国語, 言語文化 面接
家庭領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 理 数 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から3 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 理 そ 他	現代の国語, 言語文化 面接
	後期	国 地歴・ 公民 理 数 外 情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から3 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『英語』 『情Ⅰ』 [7教科(又は6教科)8科目]	国 理 そ 他	現代の国語, 言語文化 面接

学力検査等の配点										
試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	配点計
共通テスト	200	100	200	200	200	100				1000
個別テスト等			300	100						400
計	200	100	500	300	200	100				1400
共通テスト	200	100	300	200	200	100				1100
個別テスト等							200		100	300
計	200	100	300	200	200	100	200		100	1400
共通テスト	200	100	300	200	200	50				1050
個別テスト等				400						400
計	200	100	300	600	200	50				1450
共通テスト	200	100	200	200	200	50				950
個別テスト等							100		200	300
計	200	100	200	200	200	50	100		200	1250
共通テスト	200	100+ ★100	300	100+ ★100	200	50				1050
個別テスト等	★200			★200					200	400
計	200+ ★200	100+ ★100	300	100+ ★100+ ★200	200	50			200	1450
共通テスト	200	100+ ★100	200	100+ ★100	200	50				950
個別テスト等	200								200	400
計	400	100+ ★100	200	100+ ★100	200	50			200	1350

【学力検査等の配点】欄

★印は、選択教科(1教科)の配点を示す。

専攻	一般選抜の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
美術領域専攻 (美術分野)	前期	国 地歴・ 公民 数	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1または 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)6科目]	その他	実技検査(プレゼンテーションを含む)
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から2 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『英語』 『情Ⅰ』 [5教科(又は6教科)5科目]	その他	実技検査(プレゼンテーションを含む)
美術領域専攻 (書道分野)	前期	国 地歴・ 公民 数	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1または 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)6科目]	その他	実技検査 面接
音楽領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)7科目]	その他	実技検査 面接
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』『数Ⅱ、数B、数C』から1 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『英語』 『情Ⅰ』 [5教科(又は6教科)5科目]	その他	実技検査 面接
体育領域専攻	前期	国 地歴・ 公民 数	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』から1 『英語』 『情Ⅰ』 [6教科(又は7教科)7科目]	その他	実技検査 小論文
	後期	国 地歴・ 公民 数 理 外情	『国語』 『地総、地探』『歴史、日探』『歴史、世探』 『地総/歴史/公』『公、倫』『公、政経』から1 『物基/化基/生基/地基』『物』『化』『生』『地学』 『数Ⅰ、数A』『数Ⅰ』から1と 『数Ⅱ、数B、数C』 『英語』 『情Ⅰ』 [5教科(又は6教科)6科目]	その他	実技検査 小論文

学力検査等の配点										
試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	配点計
共通テスト	200	100	100	100	200	50				750
個別テスト等								400		400
計	200	100	100	100	200	50		400		1150
共通テスト	200		☆200		200	50				650
個別テスト等								400		400
計	200		☆200		200	50		400		1050
共通テスト	200	100	100	100	200	50				750
個別テスト等								400	100	500
計	200	100	100	100	200	50		400	100	1250
共通テスト	200	100	200	100	200	50				850
個別テスト等								300	100	400
計	200	100	200	100	200	50		300	100	1250
共通テスト	200	100	★100	★100	200	50				650
個別テスト等								350	300	650
計	200	100	★100	★100	200	50		350	300	1300
共通テスト	200	100	200	100	200	50				850
個別テスト等							100	400		500
計	200	100	200	100	200	50	100	400		1350
共通テスト	200	★200	200	★200	200	50				850
個別テスト等							100	400		500
計	200	★200	200	★200	200	50	100	400		1350

【学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科(1教科)の配点を示す。
☆印は、選択教科(2教科)の配点を示す。

大学入学共通テストについては、下記のとおりとします。

1. 略して記載している科目名

『地理総合，地理探究』→『地総，地探』、『歴史総合，日本史探究』→『歴総，日探』、
『歴史総合，世界史探究』→『歴総，世探』、『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公』、
『公共，倫理』→『公，倫』、『公共，政治・経済』→『公，政経』、『数学Ⅰ，数学A』→『数Ⅰ，数A』、
『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』→『数Ⅱ，数B，数C』、
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』、
『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

2. 出題範囲、出題科目選択の方法

(1) 「地理歴史・公民」

- ①『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- ②2科目を選択する場合、『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- ③『地理総合／歴史総合／公共』を含む2科目を選択する場合、選択可能な組合せは、以下のとおりです。
 - ア. 『地理総合，地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - イ. 『歴史総合，日本史探究』又は『歴史総合，世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
 - ウ. 『公共，倫理』又は『公共，政治・経済』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

(2) 「数学」

『数学Ⅱ，数学B，数学C』の「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の4項目に対応した出題とし、4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答します。

(3) 「理科」

- ①『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
- ②『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択する場合、同一名称を含む科目等の組合せ（例：「物理基礎」、「化学基礎」と『物理』）を選択することはできません。

3. 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験している場合に合否判定に利用する科目の成績

- (1) 「地理歴史・公民」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用します。
- (2) 「理科」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用します。
- (3) 「地理歴史・公民」、「理科」から1科目選択となっている場合は、いずれか高得点の「第1解答科目」の成績を利用します。
- (4) 「地理歴史・公民」、「理科」から3科目選択となっている場合は、それぞれの「第1解答科目」及びいずれか高得点の「第2解答科目」の成績を利用します。
- (5) 「数学」から1科目選択となっている場合は、いずれか高得点の科目の成績を利用します。
- (6) 「数学」、「理科」から1科目選択となっている場合は、「数学（『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ』）」、「数学（『数学Ⅱ，数学B，数学C』）」及び「理科」の「第1解答科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用します。
- (7) 「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」から2科目選択となっている場合は、次の利用方法のみとします。また、3科目以上受験した場合は、以下の利用方法から、高得点の成績を利用します。
 - ①「地理歴史・公民」から1、「数学」から1
 - ②「地理歴史・公民」から1、「理科」から1
 - ③「数学」から1、「理科」から1なお、各教科・科目の成績の利用については、上記（1）、（2）及び（5）のとおりとします。

4. 傾斜配点としている教科・科目の成績（傾斜配点により1点未満の端数が生じた場合は、科目ごとに小数点以下を切り捨てます。）

(1) 傾斜配点としている専攻とその教科の成績

専攻	一般選抜の区分	教科	大学入学共通テストの配点(A)	係数(B)	配点(A)×(B)
幼児教育専攻	後期	国語	200	0.5	100
		地理歴史・公民	100	0.5	50
		数学	100	0.5	50
		理科	100	0.5	50
		外国語(注1)	200	0.5	100
		情報	100	0.25	25
社会領域専攻	前期	地理歴史・公民(注2)	100	1.5	150
		数学(注3)	100	0.5	50
		理科	100	0.5	50
	後期	国語	200	0.5	100
		地理歴史・公民(注2)	100	1.5	150
		数学(注3)	100	0.25	25
		理科	100	0.5	50
数学領域専攻	後期	数学(注3)	100	1.5	150
理科領域専攻	前期	数学(注3)	100	1.5	150
技術領域専攻	前期	数学(注3)	100	1.5	150
体育領域専攻	後期	地理歴史・公民(注4)	100	2	200
		理科(注4)	100	2	200

(注1) 下記(3)により換算した「英語」の成績を利用します。

(注2) 「地理歴史・公民」から2科目選択することとなっています。

(注3) 「数学」から2科目選択することとなっています。

(注4) 「地理歴史・公民」、「理科」から1科目選択することとなっています。

(2) 「情報」の成績（幼児教育専攻（後期）及び数学領域専攻以外）

「情報」（大学入学共通テストの配点100点）は50点満点に換算し、利用します。

(3) 外国語「英語」の成績（全専攻共通）

① 「英語」リーディング(大学入学共通テストの配点100点)は160点満点に、「英語」リスニング(大学入学共通テストの配点100点)は40点満点に換算し、合計200点満点として利用します（換算後の合計で端数が生じた場合は、小数点以下を切り捨てます。）。

なお、「英語」リスニングを免除された者については、「英語」リーディングを200点満点に換算し、利用します。

② 免除を認められた者以外でリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったもの（欠席者）として取り扱います。

◎教科名の略称について

大学入学共通テスト及び個別テストの教科名は、次のように略しています。

「国語」→国、「地理歴史」→地歴、「数学」→数、「理科」→理、「外国語」→外、「情報」→情

IV. 学校推薦型選抜

高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下、「高等学校等」という。）を令和9年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年4月1日から令和9年3月31日までに高等学校等を卒業又は卒業見込みの者で、特に本学への入学を希望し、学業成績、人物が共に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり学力検査（大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト）を免除して学校推薦型選抜を実施します。

1. 出願資格及び要件

- ①高等学校等を令和9年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年4月1日から令和9年3月31日までに高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
- ②出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③合格した場合、入学することを確約できる者

上記の出願資格及び要件を全て満たし、かつ専攻ごとの出願要件を全て満たしている者。

専攻	出願要件
教育学専攻	1. 教育学及び心理学に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
幼児教育専攻	1. 幼児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 幼稚園教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
発達障害教育専攻	1. 特別支援教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 特別支援学校教員 もしくは 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とします。
国語領域専攻	1. 国語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.2 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
社会領域専攻	1. 社会科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。

専攻	出願要件
英語領域専攻	1. 英語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 もしくは 中学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.2 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
数学領域専攻	1. 数学（算数）に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
理科領域専攻	1. 理科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
技術領域専攻	1. 次のいずれかに該当する者 A入試：工業・農業などの産業分野の教育及び研究に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 中学校教員 等になろうとする者 B入試：もの作りや情報の活用などに強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 出願できる高等学校等 A入試（募集人員3名） 対象となるのは以下に該当する者 ・工業高等学校に在籍する者 ・農業高等学校に在籍する者 ・高等学校において、専門教育に関する教科「工業」及び「農業」に含まれる科目の単位を25単位以上履修した者 B入試（募集人員2名） 対象となるのは上記A入試の対象外の高等学校等（普通科を含む。）に在籍する者 3. 調査書の「全体の学習成績の状況」がA入試は 4.2 以上、B入試は 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
家庭領域専攻	1. 家庭科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。

専攻	出願要件
美術領域専攻	1. 子どもの造形教育ならびに美術・工芸に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校・中学校・高等学校等の美術教育をけん引する学校教員になろうとする者 2. 芸術的表現に関して、美術・工芸の授業やクラブ活動などで意欲的な活動が認められる者 3. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.8 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とします。
音楽領域専攻	1. 音楽に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、学校教員になろうとする者 2. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とします。
体育領域専攻	1. 体育・スポーツ分野(保健を含む。)に強い関心を持ち、将来、学校教員になろうとする者 2. 学校体育で取り扱われている内容、及び本学の教育課程に対応する以下の運動種目において、優れた運動能力を有する者(全国規模の大会 ^(注1) への出場経験を有する者、又はブロック大会 ^(注2) にて、ベスト8、もしくは8位以上の競技成績を有する者) 出願可能運動種目： 体操競技、陸上競技、競泳、球技【ゴール型(バスケットボール、ハンドボール、サッカー)：ネット型(バレーボール、テニス〔ソフトテニスを含む。〕、バドミントン、卓球)：ベースボール型(ソフトボール、野球)】、武道(柔道、剣道)、野外活動(スキー) 3. 調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.8 以上の者 (注1) 全国規模の大会とは、インターハイ、国民スポーツ大会及びそれらと同等以上の大会をいいます。 (注2) ブロック大会とは、都道府県大会の上位チームもしくは上位の成績を得た個人が、近畿大会など、複数の都道府県からの代表チーム又は個人として競う大会をいいます。 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とします。 ※体育領域専攻の出願要件については、学校推薦型選抜学生募集要項を必ず確認してください。

2. 選抜方法等

学力検査(大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト)を免除し、以下の方法により選抜を行います。

〔教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻(A入試、B入試)、家庭領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行います。

〔美術領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文、面接及び美術・工芸作品による選抜を行います。

当日は、作品持参(1点)とします。

〔音楽領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、実技検査及び面接による選抜を行います。

〔体育領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、体育・スポーツ業績調書、小論文、面接による選抜を行います。

第1次試験：体育・スポーツ業績調書による選抜を行います。

第1次試験の選抜結果は、11月20日付けの文書をもって通知します。

第2次試験：第1次試験の合格者に対し小論文及び面接を課し、第1次試験の成績と総合して選抜を行います。

3. 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和8年9月28日（月）までに、本学入試課入試グループへ相談してください。

なお、受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要する場合がありますので、早めに相談するようにしてください。

また、期限以降であっても、その状況によっては考慮できる場合がありますので、必ず相談するようにしてください。

相談の方法等の詳細については、本学ホームページを参照してください。

（本学ホームページトップ → MENU → 入試情報 → 受験上の配慮等に関する事前相談について）

4. 出願期間

令和8年11月1日（日）から11月5日（木）まで

5. 出願について

(1) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意してください。

※公立大学協会ホームページ参照。

(2) 出身学校長から国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)に推薦された志願者は、不合格となった場合に備え、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。出願する場合は、「前期日程」の大学・学部から1つ、「後期日程」の大学・学部から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができます。

6. 選抜期日

令和8年12月5日（土）

（体育領域専攻の第2次試験も、同日に実施します。）

7. 合格発表日

令和8年12月18日（金）（予定）

V. 学校推薦型選抜（地域指定）

京都府内の高等学校又は高等部を置く特別支援学校（以下、「高等学校等」という。）を令和9年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年4月1日から令和9年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者で、将来京都府内の**小学校教員**として地域に貢献しようとする強い意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり学力検査（大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト）を免除して学校推薦型選抜（地域指定）を実施します。

募集人員は、全専攻（教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、家庭領域専攻、美術領域専攻（美術分野、書道分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻）から20名（出願要件A：10名程度 出願要件B：10名程度）です。

1. 出願資格及び要件

（1）出願要件A（京都府北部地域）

次の①～⑤の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等（令和2年4月開校の学舎制の高等学校においては各学舎）からの推薦人数は、3名以内とし、1専攻につき1名とします。

- ①京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）の高等学校等を令和9年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年4月1日から令和9年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者
- ②**小学校教員**を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府北部の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の「全体の学習成績の状況」が**4.0**以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者

（2）出願要件B（京都府内〔出願要件Aの京都府北部地域を除く〕）

次の①～⑤の全て、又は①～⑥の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等からの推薦人数は、①～⑤の全てを満たす場合は、1名とします。

また、①～⑥の全てを満たす場合は、3名以内の推薦を認めますが、各校が推薦できるのは1専攻につき1名とします。

- ①京都府内（出願要件Aの京都府北部地域を除く）の高等学校等を令和9年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年4月1日から令和9年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者
- ②**小学校教員**を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府内の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の「全体の学習成績の状況」が**4.0**以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者
- ⑥教育に関する専門学科に在籍する者

2. 選抜方法等

学力検査（大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト）を免除し、推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行います。

3. 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和8年9月28日（月）までに、本学入試課入試グループへ相談してください。

なお、受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要する場合がありますので、早めに相談するようにしてください。

また、期限以降であっても、その状況によっては考慮できる場合がありますので、必ず相談するようにしてください。

相談の方法等の詳細については、本学ホームページを参照してください。

(本学ホームページトップ → MENU → 入試情報 → 受験上の配慮等に関する事前相談について)

4. 出願期間

令和8年11月1日（日）から11月5日（木）まで

5. 出願について

- (1) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意してください。
※公立大学協会ホームページ参照。
- (2) 本学学校推薦型選抜との併願は可能ですが、別途出願書類及び検定料等が必要となります。
- (3) 学校推薦型選抜（地域指定）に合格した者は、学校推薦型選抜の合格者とはなりません。
- (4) 出身学校長から国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者は、不合格となった場合に備え、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。出願する場合は、「前期日程」の大学・学部から1つ、「後期日程」の大学・学部から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができます。
- (5) 出願要件A、Bとも、各高等学校等からの学校推薦型選抜（地域指定）への推薦人数は、本学学校推薦型選抜の専攻ごとの推薦人数には含まれません。

6. 選抜期日

令和8年11月28日（土）

7. 合格発表日

令和8年12月3日（木）（予定）

令和8年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況

一般選抜

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	教育学専攻	16	76	69	18	3.8	17
	幼児教育専攻	7	20	18	7	2.6	7
	発達障害教育専攻	8	10	10	8	1.3	8
	国語領域専攻	14	26	22	15	1.5	14
	社会領域専攻	17	29	26	18	1.4	17
	英語領域専攻	16	30	30	16	1.9	15
	数学領域専攻	20	33	30	21	1.4	21
	理科領域専攻	23	54	53	24	2.2	24
	技術領域専攻	8	22	22	9	2.4	8
	家庭領域専攻	11	38	37	13	2.8	13
	美術領域専攻(美術分野)	6	11	10	6	1.7	6
	美術領域専攻(書道分野)	3	12	11	4	2.8	4
	音楽領域専攻	5	10	10	5	2.0	5
	体育領域専攻	15	29	28	15	1.9	13
	前期日程合計		169	400	376	179	2.1
後期日程	幼児教育専攻	1	28	15	3	5.0	3
	発達障害教育専攻	2	14	3	3	1.0	2
	社会領域専攻	2	49	10	3	3.3	3
	英語領域専攻	4	29	12	5	2.4	4
	数学領域専攻	2	15	4	2	2.0	1
	理科領域専攻	4	61	23	4	5.8	3
	美術領域専攻(美術分野)	2	20	5	2	2.5	2
	音楽領域専攻	2	26	5	2	2.5	2
	体育領域専攻	5	58	17	5	3.4	2
	後期日程合計		24	300	94	29	3.2
一般選抜合計		193	700	470	208	2.3	194

- 注 1. 受験者には、他の国公立大学入学手続完了者を含まない。
2. 倍率は、受験者／合格者で表示。

学校推薦型選抜

専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者	
教育学専攻	6	41	36	9	4.0	9	
幼児教育専攻	6	38	37	7	5.3	7	
発達障害教育専攻	4	21	19	5	3.8	5	
国語領域専攻	5	22	19	8	2.4	8	
社会領域専攻	11	32	28	12	2.3	12	
英語領域専攻	5	17	12	5	2.4	5	
数学領域専攻	7	22	19	7	2.7	7	
理科領域専攻	13	31	29	13	2.2	13	
技術領域専攻(A入試)	3	7	7	4	1.8	4	
技術領域専攻(B入試)	2	2	2	2	1.0	2	
家庭領域専攻	5	13	13	6	2.2	6	
美術領域専攻(美術分野)	5	10	10	7	1.4	7	
音楽領域専攻	5	17	16	7	2.3	7	
体育領域専攻	10	17	13	11	1.2	11	
合計		87	290	260	103	2.5	103

- 注 1. 受験者には、学校推薦型選抜(地域指定)合格者を含まない。
2. 体育領域専攻の受験者数は、第2次試験の受験者数を指す。第1次試験合格者は15名。
3. 倍率は、受験者／合格者で表示。

学校推薦型選抜(地域指定)
出願要件A(京都府北部地域)

専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	5	5	3	1.3	3
幼児教育専攻		0	0	0		0
発達障害教育専攻		0	0	0		0
国語領域専攻		1	1	1		1
社会領域専攻		1	1	1		1
英語領域専攻		3	3	2		2
数学領域専攻		2	2	2		2
理科領域専攻		3	3	2		2
技術領域専攻		0	0	0		0
家庭領域専攻		0	0	0		0
美術領域専攻(美術分野)		0	0	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		1	1	1		1
体育領域専攻		0	0	0		0
合計			16	16		12

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

学校推薦型選抜(地域指定)

出願要件B(京都府内[出願要件Aの京都府北部地域を除く])

専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	5	5	2	2.2	2
幼児教育専攻		2	2	1		1
発達障害教育専攻		2	2	2		2
国語領域専攻		5	5	2		2
社会領域専攻		3	3	2		2
英語領域専攻		2	2	2		2
数学領域専攻		2	2	1		1
理科領域専攻		3	3	1		1
技術領域専攻		1	1	0		0
家庭領域専攻		1	1	0		0
美術領域専攻(美術分野)		2	2	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		1	1	0		0
体育領域専攻		2	2	1		1
合計			31	31		14

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

教育学部計

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	169	400	376	179	2.1	172
後期日程	24	300	94	29	3.2	22
一般選抜計	193	700	470	208	2.3	194
学校推薦型選抜	87	290	262	103	2.5	103
学校推薦型選抜(地域指定)	20	47	47	26	1.8	26
合計	300	1,037	779	337	2.3	323

注 学校推薦型選抜の受験者数には、体育領域専攻の第1次試験不合格者を含む。

過去の入学者選抜実施状況

年度	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
令和4年度	300	907	696	335	2.1	327
令和5年度	300	929	735	339	2.2	329
令和6年度	300	898	702	332	2.1	325
令和7年度	300	931	726	338	2.1	330

令和8年度 京都教育大学教育学部 入学者選抜(一般選抜)

合格者の平均点・最高点・最低点

専攻	募集人員		大学入学共通テスト				個別テスト等				総合得点			
	合格者	16	配点	平均点	最高点	最低点	配点	平均点	最高点	最低点	配点合計	平均点	最高点	最低点
教育学専攻	18	950	631.4	684	577	400	286.2	320	248	1350	917.6	959	880	
幼児教育専攻	7	950	638.1	***	***	400	312.3	***	***	1350	950.4	987	921	
発達障害教育専攻	8	950	583.1	***	***	400	285.4	***	***	1350	868.5	986	790	
国語領域専攻	14	950	633.1	774	600	400	285.7	314	262	1350	918.8	1070	872	
社会領域専攻	17	900	652.0	686	624	400	286.9	332	242	1300	938.9	1011	889	
英語領域専攻	16	950	633.3	746	547	400	237.9	272	186	1350	871.2	1010	792	
数学領域専攻	20	1000	614.9	723	496	400	199.8	285	126	1400	814.7	951	676	
理科領域専攻	23	1050	684.1	780	553	400	290.8	362	222	1450	954.9	1088	862	
技術領域専攻	8	950	557.1	***	***	400	277.7	***	***	1350	834.8	875	791	
家庭領域専攻	11	950	571.5	611	542	400	291.6	319	265	1350	863.2	913	831	
美術領域専攻(美術分野)	6	750	452.2	***	***	400	313.7	***	***	1150	765.8	888	659	
美術領域専攻(書道分野)	3	750	433.5	***	***	500	385.0	***	***	1250	818.5	***	***	
音楽領域専攻	5	850	529.0	***	***	400	321.0	***	***	1250	850.0	882	808	
体育領域専攻	15	850	552.9	600	510	500	330.5	367	283	1350	883.4	965	846	
幼児教育専攻	1	375	248.3	***	***	300	242.3	***	***	675	490.7	***	***	
発達障害教育専攻	2	950	528.3	***	***	400	311.0	***	***	1350	839.3	***	***	
社会領域専攻	2	750	588.7	***	***	300	219.7	***	***	1050	808.3	***	***	
英語領域専攻	4	950	677.6	***	***	600	444.0	***	***	1550	1121.6	1198	1075	
数学領域専攻	2	1100	694.5	***	***	300	252.5	***	***	1400	947.0	***	***	
理科領域専攻	4	950	664.8	***	***	300	193.0	***	***	1250	857.8	***	***	
美術領域専攻(美術分野)	2	650	436.5	***	***	400	315.0	***	***	1050	751.5	***	***	
音楽領域専攻	2	650	384.5	***	***	650	536.5	***	***	1300	901.0	***	***	
体育領域専攻	5	850	559.8	***	***	500	308.8	***	***	1350	868.6	886	848	

注 合格者が10名未満の専攻については、大学入学共通テストと個別テスト等の最高点・最低点は公表しない。
合格者が5名未満の専攻については、大学入学共通テスト、個別テスト等及び総合得点の最高点・最低点は公表しない。
なお、合格者が1名の専攻については、すべて公表しない。

令和8年度京都教育大学教育学部
志願者・入学者出身高等学校都道府県別調べ

	都道府県名等	志願者	入学者
1	北海道	6	4
2	青森県	0	0
3	岩手県	1	0
4	宮城県	1	0
5	秋田県	2	1
6	山形県	0	0
7	福島県	0	0
8	茨城県	2	1
9	栃木県	1	1
10	群馬県	3	0
11	埼玉県	4	0
12	千葉県	4	1
13	東京都	11	4
14	神奈川県	4	1
15	新潟県	7	0
16	富山県	17	5
17	石川県	24	7
18	福井県	24	6
19	山梨県	3	1
20	長野県	6	2
21	岐阜県	14	2
22	静岡県	18	3
23	愛知県	41	9
24	三重県	9	3
25	滋賀県	66	23
26	京都府	311	108
27	大阪府	159	43
28	兵庫県	74	25
29	奈良県	21	8
30	和歌山県	20	8
31	鳥取県	13	8
32	島根県	4	1
33	岡山県	21	7
34	広島県	25	6
35	山口県	12	3
36	徳島県	13	3
37	香川県	28	9
38	愛媛県	13	4
39	高知県	3	2
40	福岡県	11	3
41	佐賀県	3	1
42	長崎県	8	3
43	熊本県	2	1
44	大分県	4	2
45	宮崎県	3	0
46	鹿児島県	9	2
47	沖縄県	12	2
48	高卒程度認定試験等	0	0
49	在外教育施設	0	0
	計	1,037	323

	志願者	入学者
全国のうち京都府	30.0%	33.4%

令和8年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の高等学校卒業年調べ

卒業年	志願者	入学者
令和8	976	308
令和7以前	61	15
その他	0	0
合計	1,037	323

令和8年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の男女別調べ

性別	志願者	入学者
男	422	128
女	615	195
合計	1,037	323

令和9年度学生募集要項等の公表について

I. 公表時期

種 類	公表時期（予定）	備 考
大学案内	発 行 中	—
入学者選抜に関する要項（本要項）	発 行 中	—
学校推薦型選抜学生募集要項	令和8年 7月上旬	※ホームページでのみ公表
一般選抜学生募集要項	令和8年10月下旬	※ホームページでのみ公表

※一般選抜及び学校推薦型選抜では、インターネット出願による募集を行います。

学生募集要項は本学ホームページからダウンロードしてください。学生募集要項（冊子）の発行は行いません。

II. 請求方法

1. ホームページから請求する場合

本学ホームページに掲載のテレメール又はモバっちょにより、直接請求できます。

詳しくは本学ホームページ（→MENU→入試情報→資料請求（入試関係））をご覧ください。

2. テレメールから請求する場合

(1) テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	資料請求はこちら (資料請求番号の入力不要)	▶	
---------	---	---------------------------	---	---

URL からアクセスした場合は、請求希望する資料番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内のみ	5 6 4 8 2 2
大学案内+入学者選抜に関する要項（本要項）	5 6 4 8 0 2
入学者選抜に関する要項（本要項）のみ	5 4 4 8 2 2

※16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。

※通常は発送日のおおむね3~5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。

※資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。

※発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。

(2) 移動後の画面の指示に従って請求してください。

請求方法等は移動後の画面をご確認ください。

※資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される 10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日に変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達は通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。

※資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。

※料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い (PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い)」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料 30 円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料 118 円が、支払い時に別途必要です。

◆上記2の問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102

(受付時間9時30分～18時)

3. 大学情報センターの「モバっちょ」から請求する場合

(1) インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話) をご利用ください。

インターネット 〔 パソコン スマートフォン 携帯電話 〕	https://djc-mb.jp/kyokyo-u3/	
--	---	---

(2) 移動後の画面の指示に従って請求してください。

請求できる資料、請求方法は移動後の画面をご確認ください。

◆上記3の問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005

(受付時間平日10時～18時)

4. 郵送での請求

郵便番号、住所、氏名を明記し、**送料 (ホームページ参照) 分**の郵便切手を貼付した返信用封筒 (角形2号 33cm×24cm) を同封のうえ、大学への送付用封筒の表に請求される年度・区分・資料名を朱書きし下記請求先に送付してください。

(例) 「令和9年度 教育学部 入学者選抜に関する要項+大学案内 請求」

5. 本学窓口での受領（各資料発行日以降受付）

平日の9時～17時（12時30分～13時30分は窓口休止）に、入試グループ④番窓口までお越しください。

※土曜日、日曜日、祝日、夏季一斉休業期間（8月13日、8月14日）及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

◆上記4、5の問い合わせ先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 入試課 入試グループ

TEL 075-644-8161

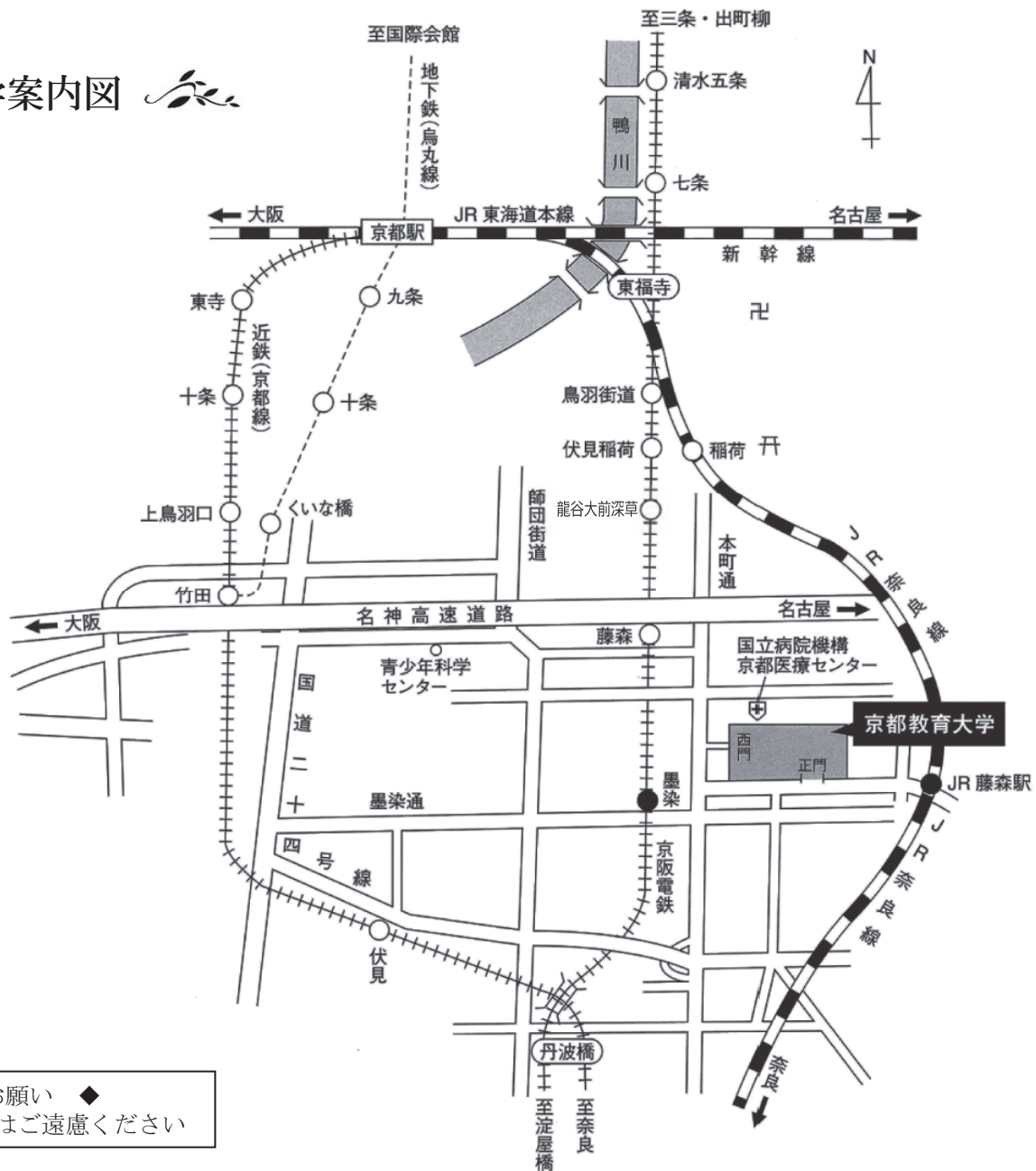
受付時間 9時～17時（12時30分～13時30分を除く。）

E-mail nyushi@kyokyo-u.ac.jp

※各資料発行前に請求があった場合には、予約受付となり、各資料発行後に送付することとなります。

※いずれの請求方法の場合も、申込み後の取り消しはできませんので、注意してください。

大学案内図



◆ お願い ◆
車でのお越しはご遠慮ください

交通案内

- JR利用者
JR奈良線・JR藤森駅下車 徒歩約3分
- 京阪電車利用者
京阪・墨染駅下車 徒歩約7分
- 近鉄電車利用者
近鉄・丹波橋駅で京阪電車に乗り換え
墨染駅下車

京都教育大学 入試課入試グループ

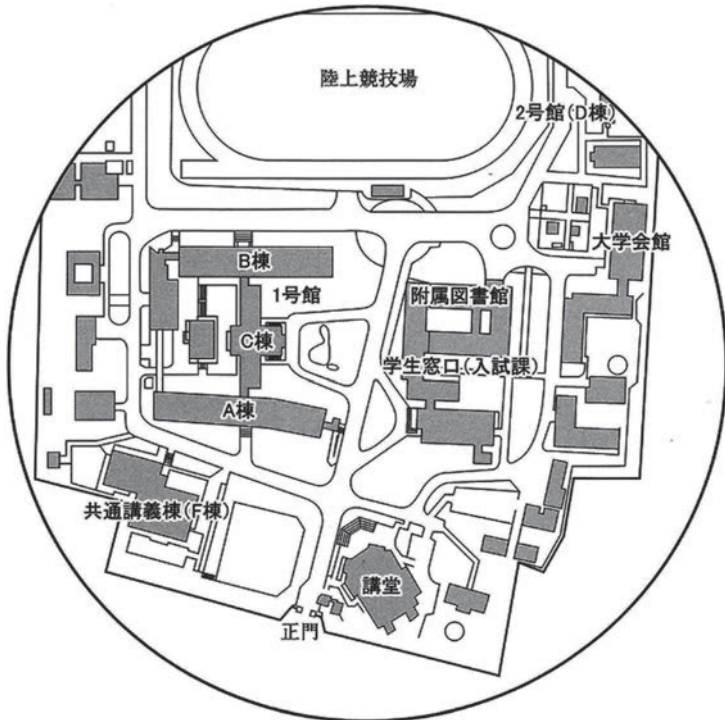
《所在地》

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

《電話番号》

075-644-8161

学内図





国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

入試課 入試グループ